



## 2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月13日

上場会社名 大東港運株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9367 URL <http://www.daito-koun.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 曾根 好貞  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総務部長 (氏名) 村上 雅彦 (TEL) 03-5476-9701  
 定時株主総会開催予定日 2026年6月25日 配当支払開始予定日 2026年6月26日  
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月23日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年3月期の連結業績(2025年4月1日~2026年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	18,132	8.2	1,095	65.8	1,239	51.7	869	40.9
2025年3月期	16,761	4.4	660	3.0	817	2.7	617	15.5

(注) 包括利益 2026年3月期 1,420百万円(140.9%) 2025年3月期 589百万円(△29.4%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	100.70	—	8.7	8.0	6.0
2025年3月期	71.58	—	6.7	5.5	3.9

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 54百万円 2025年3月期 53百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	15,791	10,760	67.0	1,224.40
2025年3月期	15,190	9,569	61.9	1,089.32

(参考) 自己資本 2026年3月期 10,583百万円 2025年3月期 9,399百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	884	△808	△467	2,678
2025年3月期	919	△1,526	△218	2,993

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00	207	33.5	2.2
2026年3月期	—	12.00	—	19.00	31.00	267	30.8	2.7
2027年3月期(予想)	—	15.00	—	16.00	31.00		33.5	

## 3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日~2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,200	0.4	1,100	0.4	1,200	△3.2	800	△8.0	92.58

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無  
 新規 一社 (社名) 一 、 除外 一社 (社名) 一

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期	9,389,000株	2025年3月期	9,389,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期	745,550株	2025年3月期	760,684株
③ 期中平均株式数	2026年3月期	8,638,641株	2025年3月期	8,623,663株

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年3月期の個別業績 (2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	15,998	6.4	896	24.4	996	22.3	745	17.7
2025年3月期	15,030	3.6	720	12.3	814	7.2	633	△27.5
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2026年3月期	86.31		—					
2025年3月期	73.46		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2026年3月期	14,468		9,469		65.5	1,095.49		
2025年3月期	14,158		8,496		60.0	984.70		

(参考) 自己資本 2026年3月期 9,469百万円 2025年3月期 8,496百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料7ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。
- ・当社は、2026年5月13日に、決算説明資料「第77期 (2026年3月期) 決算説明資料」を当社ホームページに掲載しております。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	5
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	6
(4) 今後の見通し .....	7
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	7
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	8
(1) 連結貸借対照表 .....	8
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	10
連結損益計算書 .....	10
連結包括利益計算書 .....	11
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	12
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	14
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	16
(継続企業の前提に関する注記) .....	16
(セグメント情報等) .....	16
(1株当たり情報) .....	19
(重要な後発事象) .....	19

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、一部に弱めの動きも見られますが緩やかに回復する状況となりました。鉱工業生産は横ばい圏内の動きとなっておりますが、企業収益は改善傾向にあり、設備投資は底堅く推移しました。また個人消費は物価上昇の影響がみられるものの、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな増加基調を辿りました。

海外経済についても総じて緩やかな成長が継続しました。米国の政策運営をめぐる不確実性は強まりましたが、そのような中でも経済活動全般としては堅調に推移しました。中国経済は不動産市場や労働市場の調整要因により引き続き不透明な状況が継続しています。ロシア・ウクライナ問題の長期化、中東地域をめぐる情勢悪化の要因もありましたが、米国経済が世界経済を牽引する形で海外経済は緩やかに成長しました。

斯かる環境下、物流業界におきましては、輸出は米国の関税政策の影響はありましたが世界経済の回復を受けて数量ベースでは微増となりました。輸入についても国内景気の回復に伴い数量ベースで増加しました。

その中で、食品の輸入が大きな部分を占める当社の取扱いは、生産国物価の上昇、円安環境の継続、物価上昇による節約ムード等の影響はあるものの、畜産・水産・農産物については増加、その他食品及び日用品については減少となりました。また鋼材の国内物流取扱い及び海外事業・不動産賃貸においては増加、その他（国内子会社）においても増加となりました。

その結果、当連結会計年度における営業収益は、前年同期間比8.2%増の18,132,106千円となり、経常利益は前年同期間比51.7%増の1,239,447千円、親会社株主に帰属する当期純利益は前年同期間比40.9%増の869,905千円となりました。

セグメント別の営業状況は、次のとおりであります。

#### [輸出入貨物取扱事業]

輸出入貨物取扱事業は、農畜水産物の増加により、営業収益は前年同期間比6.9%増の13,221,038千円となり、セグメント利益は前年同期間比8.7%増の1,771,003千円となりました。

#### [鉄鋼物流事業]

鉄鋼物流事業は、鉄鋼製品の国内需要の増加により、営業収益は前年同期間比4.6%増の2,139,675千円となり、セグメント利益は前年同期間比9.9%増の197,310千円となりました。

#### [海外事業]

海外事業は、海外子会社の売上増加により、営業収益は前年同期間比49.2%増の1,034,483千円となり、セグメント利益は69,565千円（前連結会計年度はセグメント損失15,914千円）となりました。

#### [国内不動産賃貸事業]

国内不動産賃貸事業は、賃貸収入の増加により、営業収益は前年同期間比16.7%増の338,779千円となり、セグメント利益は前年同期間比6.7%増の113,911千円となりました。

#### [その他事業]

その他事業は、国内子会社の売上増加により、営業収益は前年同期間比2.3%増の1,398,129千円となり、セグメント利益は29,302千円（前連結会計年度はセグメント損失117,388千円）となりました。

## セグメント別営業収益

セグメントの名称	前連結会計年度 自 2024年4月1日 至 2025年3月31日		当連結会計年度 自 2025年4月1日 至 2026年3月31日		増減	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	増減比 (%)
輸出入貨物取扱事業	12,364,746	73.8	13,221,038	72.9	856,291	6.9
鉄鋼物流事業	2,045,904	12.2	2,139,675	11.8	93,771	4.6
海外事業	693,356	4.1	1,034,483	5.7	341,126	49.2
国内不動産賃貸事業	290,311	1.7	338,779	1.9	48,468	16.7
その他事業	1,367,173	8.2	1,398,129	7.7	30,956	2.3
合計	16,761,492	100.0	18,132,106	100.0	1,370,613	8.2

## 輸出入貨物取扱事業における取扱品目別売上高

取扱品目	前連結会計年度 自 2024年4月1日 至 2025年3月31日		当連結会計年度 自 2025年4月1日 至 2026年3月31日		増減	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	増減比 (%)
畜産物	4,972,196	40.2	5,498,798	41.6	526,602	10.6
水産物	2,595,969	21.0	2,680,061	20.3	84,091	3.2
農産物	1,610,430	13.0	1,883,474	14.2	273,043	17.0
その他	3,186,150	25.8	3,158,704	23.9	△27,445	△0.9
合計	12,364,746	100.0	13,221,038	100.0	856,291	6.9

当社グループは「『ありがとう』にありがとう」のコーポレートフィロソフィーの下で第8次中期経営計画「Be Sustainable」～サステナブルを目指して～ の最終年度を迎え、その各施策一つひとつに取り組むと共に、計画達成に向け受注活動を堅実に展開してまいりました。合わせて時差出勤やテレワークの推進、それに付随した機器・システムの導入、RPA化等により、生産性向上に向け取り組みました。

当期最終年度となった第8次中期経営計画の総括は、以下の通りです。

・持続的価値の拡大

商船三井ロジスティクス株式会社との戦略的提携を活用した新たなサービスを活用しお客様に対して「より安全かつ信頼性の高いサービス」を提供することが可能になりました。

・営業組織力・人財力・IT力の強化

営業活動の活性化によって市場接点の拡大を図るとともに、管理職候補者向けアセスメント研修やエンゲージメント・サーベイを活用し、社員の働き甲斐と組織活力の向上に努めてまいりました。また、生産性向上プロジェクトの活動やIT研修によって生産性とITリテラシーの底上げを図りました。さらに本社移転を契機として職場環境の刷新と円滑なコミュニケーションの促進にもつなげています。

・環境課題・社会課題に配慮した事業推進

オフィシャルスポンサーとなったBリーグ所属のバスケットチームである「アースフレンズ東京 Z」と連携し、東京都港区で地域貢献活動を行いました。

・グループの成長と発展

連結子会社であるEver Glory Logistics Pte.Ltd.、大東運輸倉庫株式会社で新たに倉庫物件を取得した他、グループの所有資産の見直しにより、業務拡大を図りました。

その結果、第8次中期経営計画の目標値については、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益のすべてにおいて達成することができました。

目標値：売上高175億円、営業利益9.2億円、経常利益10億円、当期純利益6.7億円

実績値：売上高181億円、営業利益10.9億円、経常利益12.3億円、当期純利益9.1億円

(2) 当期の財政状態の概況

①事業全体の分析

(資産)

当連結会計年度末における総資産は15,791,116千円となり、前連結会計年度に比較し601,024千円増加いたしました。

これは主に、現金及び預金が313,362千円減少した一方、有形固定資産が311,637千円、投資有価証券が694,221千円それぞれ増加したことによるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における負債は、5,030,713千円となり、前連結会計年度に比較し589,839千円減少いたしました。

これは主に、営業未払金が431,870千円、退職給付に係る負債が217,890千円それぞれ減少したことによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は10,760,402千円となり、前連結会計年度に比較し1,190,863千円増加いたしました。

これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益の計上に伴い利益剰余金が662,631千円、有価証券評価差額が446,765千円それぞれ増加したことによるものであります。

セグメント情報に記載された区分ごとの状況

(輸出入貨物取扱事業)

輸送機器・社内サーバーを設備更新したため、セグメント資産は前連結会計年度に比較し121,860千円増加の4,473,054千円となりました。

(鉄鋼物流事業)

セグメント資産は前連結会計年度に比較し31,282千円減少の536,937千円となりました。

(海外事業)

セグメント資産は前連結会計年度に比較し28,291千円増加の2,133,039千円となりました。

(国内不動産賃貸事業)

連結子会社において賃貸用倉庫を取得したため、セグメント資産は前連結会計年度に比較し270,251千円増加の1,854,030千円となりました。

(その他事業)

連結子会社において倉庫取得により現金及び預金が減少したため、セグメント資産は前連結会計年度に比較し198,746千円減少の958,897千円となりました。

(調整額)

投資有価証券が増加したため、セグメント資産は前連結会計年度に比較し410,649千円増加の5,835,157千円となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末に比較し314,661千円減少し、2,678,791千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動において増加した資金は884,940千円（前連結会計年度は919,906千円の資金増）となりました。

これは仕入債務の減少額426,270千円、法人税等の支払額299,025千円があった一方で、税金等調整前当期純利益1,258,153千円、減価償却費387,337千円があったことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動において減少した資金は808,183千円（前連結会計年度は1,526,847千円の資金減）となりました。

これは有形固定資産の取得による支出675,917千円、保険積立金の積立による支出132,533千円があったことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動において減少した資金は467,904千円（前連結会計年度は218,566千円の資金減）となりました。

これは長期借入れによる収入450,000千円があった一方で、長期借入金の返済による支出591,480千円、リース債務の返済による支出86,718千円、配当金の支払額206,612千円があったことによるものであります。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
自己資本比率	57.4	59.6	61.1	61.9	67.0
時価ベースの自己資本比率	45.4	42.9	45.8	40.0	115.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	1.5	1.4	1.3	1.9	1.8
インタレスト・カバレッジ・レシオ	110.0	101.5	143.5	39.8	25.5

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー(利息及び法人税等控除前)

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー(利息及び法人税等控除前)／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) 営業キャッシュ・フロー(利息及び法人税等控除前)は、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フロー(利息及び法人税等控除前)を使用しております。

ただし、2024年3月期については、数値の比較性および有用性の観点から、控除額（利息の支払額および法人税等の支払額）に補助金の受取額40,000千円を含めて使用しております。

(注4) 有利子負債比率は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。

#### (4) 今後の見通し

当社は鉄鋼物流事業で礎を築き、その後は冷凍・冷蔵の輸入食品における海上貨物取扱事業にも注力して参りました。そしてこの国民生活に欠かせない“食”の供給についてその責任の一端を担い続けたことで、移りゆく環境においても社会にとって存在価値のある企業として成長し続けることが出来ました。また、グローバル化の進捗が世界の人々との交流と国内外貨物の物流増加を招き、当社のしっかりとした発展の支えとなりました。

しかしながら、地政学的リスクと金融環境による海外経済の減速、大幅な円安に伴うエネルギー価格や物価の動向は引き続き先行き不透明であり、今後も企業活動においては、幾重もの辛抱・忍耐を強いられますが、社員一同、厳しい活動環境・経済環境のさまざまな変化にしっかりと向かって参ります。

そのような環境の下、当社グループは「『ありがとう』にありがとう」のコーポレートフィロソフィーに加え、社会環境の変化等に伴う更なる課題を踏まえ、持続的に成長する企業となるべく「暮らしと産業の未来を支えるロジスティクス・パートナー ～Stronger Together～」を経営ビジョンに掲げた第9次中期経営計画を策定しました。この2026年4月からを初年度とする3年間の指針と共に当社グループはワンチームとなって、確実に歩んでまいります。

第9次中期経営計画の基本方針は、以下のとおりです。

##### (1) 既存業務の深化・多角化

多様化する顧客ニーズにワンストップで応える為、営業体制を変革し、コア事業の更なる拡大に取り組むと共に新たな派生事業領域への進出に挑戦をします。

##### (2) 運送力の強化

納期・温度帯等の要件に対して柔軟に対応できる輸送基盤を作り、さまざまな顧客ニーズに対応できる『安定した輸送体制の構築』を目指します。

##### (3) オペレーティング・モデルの再設計

既存のオペレーティング・モデルにデジタルを取り入れることにより、成果を再現・拡張できるオペレーティングモデルを確立し、顧客に対する対応力を高めます。

##### (4) 人材育成

海外展開や新領域の拡張を支える専門知識を備えた人材を計画的に育成し、現場の判断力と提案力の底上げを目指します。

来期業績目標については、次の通りです。

連結営業収益182億円、連結営業利益11億円、連結経常利益12億円、親会社株主に帰属する当期純利益8億円を予想しております。

なお上記の業績目標については本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、今後の中東情勢が国内外景気に及ぼす影響など実際の業績は様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

その際は適切に開示してまいります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,020,870	2,707,507
受取手形及び営業未収入金	2,218,382	2,281,088
棚卸資産	377,952	348,046
関税等立替金	1,503,259	1,502,426
前払費用	148,440	133,798
未収入金	18,942	25,884
その他	232,603	94,109
貸倒引当金	△1,038	△1,249
流動資産合計	7,519,413	7,091,610
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,285,538	3,403,211
減価償却累計額	△1,412,028	△1,602,551
建物及び構築物(純額)	1,873,509	1,800,659
機械装置及び運搬具	1,003,315	1,106,483
減価償却累計額	△847,675	△817,614
機械装置及び運搬具(純額)	155,640	288,868
土地	2,313,789	2,580,904
リース資産	625,882	595,106
減価償却累計額	△506,424	△519,839
リース資産(純額)	119,458	75,266
その他	294,332	339,896
減価償却累計額	△177,762	△194,990
その他(純額)	116,569	144,905
有形固定資産合計	4,578,967	4,890,605
無形固定資産		
ソフトウェア	58,554	81,260
電話加入権	2,974	2,974
施設利用権	58,239	48,120
ソフトウェア仮勘定	—	3,300
のれん	22,658	11,328
無形固定資産合計	142,425	146,984
投資その他の資産		
投資有価証券	1,455,081	2,149,303
長期貸付金	9,872	8,159
破産更生債権等	2,985	2,745
長期前払費用	11,286	19,554
繰延税金資産	113,674	18,191
保険積立金	1,059,691	1,158,303
その他	299,096	308,177
貸倒引当金	△2,404	△2,520
投資その他の資産合計	2,949,285	3,661,915
固定資産合計	7,670,678	8,699,505
資産合計	15,190,092	15,791,116

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	1,459,297	1,027,427
短期借入金	646,480	1,458,015
リース債務	78,843	66,652
未払費用	144,210	172,957
未払法人税等	176,577	176,844
未払消費税等	8,090	58,523
賞与引当金	323,134	336,548
その他	402,703	298,776
流動負債合計	3,239,337	3,595,744
固定負債		
長期借入金	1,622,945	755,750
リース債務	141,479	85,435
再評価に係る繰延税金負債	166,003	166,003
退職給付に係る負債	276,221	58,331
長期末払金	69,040	69,040
繰延税金負債	12,145	204,763
その他	93,380	95,645
固定負債合計	2,381,215	1,434,969
負債合計	5,620,552	5,030,713
純資産の部		
株主資本		
資本金	856,050	856,050
資本剰余金	621,875	629,159
利益剰余金	7,362,196	8,024,827
自己株式	△352,780	△346,018
株主資本合計	8,487,341	9,164,018
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	265,548	712,314
土地再評価差額金	51,548	51,548
為替換算調整勘定	157,930	130,742
退職給付に係る調整累計額	436,643	524,450
その他の包括利益累計額合計	911,670	1,419,055
非支配株主持分	170,527	177,328
純資産合計	9,569,539	10,760,402
負債純資産合計	15,190,092	15,791,116

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業収益	16,761,492	18,132,106
営業原価	12,117,021	12,908,401
営業総利益	4,644,471	5,223,704
販売費及び一般管理費	3,983,769	4,128,431
営業利益	660,701	1,095,273
営業外収益		
受取利息	3,449	6,938
受取配当金	41,829	42,654
為替差益	19,136	38,465
有価証券償還益	—	5,625
受取保険金	45,630	16,731
受取手数料	4,536	4,259
持分法による投資利益	53,188	54,701
その他	38,261	29,187
営業外収益合計	206,032	198,563
営業外費用		
支払利息	37,164	52,593
複合金融商品評価損	5,625	—
その他	6,674	1,795
営業外費用合計	49,463	54,389
経常利益	817,270	1,239,447
特別利益		
固定資産売却益	—	4,499
投資有価証券売却益	85,325	15,276
ゴルフ会員権売却益	—	545
資産除去債務戻入益	15,208	—
特別利益合計	100,533	20,321
特別損失		
投資有価証券売却損	—	1,614
特別損失合計	—	1,614
税金等調整前当期純利益	917,804	1,258,153
法人税、住民税及び事業税	278,359	299,009
法人税等調整額	14,485	48,946
法人税等合計	292,844	347,956
当期純利益	624,959	910,197
非支配株主に帰属する当期純利益	7,696	40,291
親会社株主に帰属する当期純利益	617,262	869,905

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	624,959	910,197
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△124,543	446,765
土地再評価差額金	△4,739	—
為替換算調整勘定	68,113	△28,793
退職給付に係る調整額	30,803	87,807
持分法適用会社に対する持分相当額	△4,933	4,280
その他の包括利益合計	△35,299	510,059
包括利益	589,660	1,420,256
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	574,885	1,386,500
非支配株主に係る包括利益	14,774	42,966

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	856,050	616,957	6,943,218	△359,793	8,056,432
当期変動額					
剰余金の配当			△198,284		△198,284
親会社株主に帰属する当期純利益			617,262		617,262
自己株式の処分		4,918		7,013	11,931
持分法適用会社の保有する親会社株式の変動					—
連結子会社株式の取得による持分の増減					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	4,918	418,977	7,013	430,909
当期末残高	856,050	621,875	7,362,196	△352,780	8,487,341

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	390,092	56,288	101,828	405,839	954,048	155,015	9,165,495
当期変動額							
剰余金の配当							△198,284
親会社株主に帰属する当期純利益							617,262
自己株式の処分							11,931
持分法適用会社の保有する親会社株式の変動							—
連結子会社株式の取得による持分の増減							—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△124,543	△4,739	56,102	30,803	△42,377	15,511	△26,865
当期変動額合計	△124,543	△4,739	56,102	30,803	△42,377	15,511	404,043
当期末残高	265,548	51,548	157,930	436,643	911,670	170,527	9,569,539

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	856,050	621,875	7,362,196	△352,780	8,487,341
当期変動額					
剰余金の配当			△207,273		△207,273
親会社株主に帰属する当期純利益			869,905		869,905
自己株式の処分		4,213		7,508	11,721
持分法適用会社の保有する親会社株式の変動				△746	△746
連結子会社株式の取得による持分の増減		3,071			3,071
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	7,284	662,631	6,761	676,677
当期末残高	856,050	629,159	8,024,827	△346,018	9,164,018

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	265,548	51,548	157,930	436,643	911,670	170,527	9,569,539
当期変動額							
剰余金の配当							△207,273
親会社株主に帰属する当期純利益							869,905
自己株式の処分							11,721
持分法適用会社の保有する親会社株式の変動							△746
連結子会社株式の取得による持分の増減							3,071
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	446,765	—	△27,188	87,807	507,384	6,801	514,185
当期変動額合計	446,765	—	△27,188	87,807	507,384	6,801	1,190,863
当期末残高	712,314	51,548	130,742	524,450	1,419,055	177,328	10,760,402

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	917,804	1,258,153
減価償却費	299,197	387,337
のれん償却額	26,105	11,329
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,426	326
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△92,873	△89,922
受取利息及び受取配当金	△45,278	△49,592
支払利息	37,164	52,593
為替差損益 (△は益)	△19,136	△38,465
持分法による投資損益 (△は益)	△53,188	△54,701
有価証券償還損益 (△は益)	—	△5,625
複合金融商品評価損益 (△は益)	5,625	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△85,325	△13,661
ゴルフ会員権売却損益 (△は益)	—	△545
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△4,499
資産除去債務戻入益	△15,208	—
売上債権の増減額 (△は増加)	146,737	△51,111
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△27,571	29,906
関税等立替金の増減額 (△は増加)	△79,317	833
仕入債務の増減額 (△は減少)	△11,305	△426,270
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△32,847	50,076
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△116,451	140,442
その他	223,676	△13,827
小計	1,075,378	1,182,777
利息及び配当金の受取額	45,649	49,667
利息の支払額	△30,268	△48,477
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△170,852	△299,025
営業活動によるキャッシュ・フロー	919,906	884,940
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△63,199	△27,816
定期預金の払戻による収入	62,722	27,417
保険積立金の積立による支出	△114,414	△132,533
保険積立金の解約による収入	26,258	33,316
有形固定資産の取得による支出	△1,552,731	△675,917
無形固定資産の取得による支出	△14,078	△51,035
有価証券の償還による収入	—	50,000
投資有価証券の取得による支出	△115,187	△86,971
投資有価証券の償還による収入	100,000	—
投資有価証券の売却による収入	178,321	65,265
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△6,021	—
貸付けによる支出	△6,400	△5,200
貸付金の回収による収入	15,180	8,860
敷金及び保証金の差入による支出	△42,169	△2,881
敷金及び保証金の回収による収入	4,871	2,835
ゴルフ会員権の取得による支出	—	△17,519
ゴルフ会員権の売却による収入	—	3,995
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,526,847	△808,183

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	100,000	100,000
短期借入金の返済による支出	△150,000	△100,000
長期借入れによる収入	835,960	450,000
長期借入金の返済による支出	△649,730	△591,480
リース債務の返済による支出	△156,316	△86,718
配当金の支払額	△198,480	△206,612
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△33,093
財務活動によるキャッシュ・フロー	△218,566	△467,904
現金及び現金同等物に係る換算差額	△854	76,486
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△826,362	△314,661
現金及び現金同等物の期首残高	3,819,814	2,993,452
現金及び現金同等物の期末残高	2,993,452	2,678,791

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは輸出入貨物取扱事業を中心に鉄鋼物流事業及びその他周辺事業を含めた事業活動を展開しております。

従って、当社グループは事業別セグメントから構成されており、「輸出入貨物取扱事業」、「鉄鋼物流事業」、「海外事業」、「国内不動産賃貸事業」及び「その他事業」の5つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「輸出入貨物取扱事業」は、食品、鉄鋼・非鉄、化学工業品、機械、日用雑貨等の輸出入手続きにおける、検疫、検査、保税運送、輸出入通関等の一連の業務を行っております。

「鉄鋼物流事業」は、国内鉄鋼製品の荷役、保管、配送等を行っております。

「海外事業」は、海外子会社における物流事業等を行っております。

「国内不動産賃貸事業」は、国内における不動産賃貸を行っております。

「その他事業」は、主に港湾荷役、その他の国内物流事業等を行っております。

2 報告セグメントごとの営業収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

また、報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの営業収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額	合計
	輸出入貨物 取扱事業	鉄鋼物流 事業	海外事業	国内不動産 賃貸事業	その他事業	計		
営業収益								
外部顧客への営業収益	12,364,746	2,045,904	693,356	290,311	1,367,173	16,761,492	—	16,761,492
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	2,283	—	1,997	—	153,861	158,142	△158,142	—
計	12,367,029	2,045,904	695,354	290,311	1,521,034	16,919,634	△158,142	16,761,492
セグメント利益	1,628,685	179,589	△15,914	106,715	△117,388	1,781,687	△1,120,985	660,701
セグメント資産	4,351,193	568,219	2,104,748	1,583,778	1,157,643	9,765,584	5,424,507	15,190,092
その他の項目								
減価償却費	104,550	10,052	77,451	23,730	24,954	240,739	55,719	296,459
のれんの償却額	—	—	14,776	—	—	14,776	11,329	26,105
のれんの未償却残高	—	—	—	—	—	—	22,658	22,658
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	2,870	1,251	1,543,427	11,600	4,207	1,563,357	166,868	1,730,225

- (注) 1. セグメント利益の調整額は、全社費用1,120,985千円であります。
2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. セグメント資産のうち、調整額の項目に含めた全社資産5,424,507千円の主なものは、親会社での余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産であります。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額	合計
	輸出入貨物 取扱事業	鉄鋼物流 事業	海外事業	国内不動産 賃貸事業	その他事業	計		
営業収益								
外部顧客への営業収益	13,221,038	2,139,675	1,034,483	338,779	1,398,129	18,132,106	—	18,132,106
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	1,476	—	2,545	—	149,106	153,128	△153,128	—
計	13,222,514	2,139,675	1,037,029	338,779	1,547,236	18,285,234	△153,128	18,132,106
セグメント利益	1,771,003	197,310	69,565	113,911	29,302	2,181,094	△1,085,821	1,095,273
セグメント資産	4,473,054	536,937	2,133,039	1,854,030	958,897	9,955,959	5,835,157	15,791,116
その他の項目								
減価償却費	48,708	22,683	187,584	24,678	20,848	304,504	80,771	385,275
のれんの償却額	—	—	—	—	—	—	11,329	11,329
のれんの未償却残高	—	—	—	—	—	—	11,328	11,328
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	108,160	44,691	99,724	289,465	10,239	552,281	98,377	650,658

(注) 1. セグメント利益の調整額は、全社費用1,085,821千円であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. セグメント資産のうち、調整額の項目に含めた全社資産5,835,157千円の主なものは、親会社での余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産であります。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	1,089.32円	1,224.40円
1株当たり当期純利益金額	71.58円	100.70円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎

項目	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	617,262	869,905
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	617,262	869,905
普通株式の期中平均株式数(株)	8,623,663	8,638,641

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。